

グローバル創薬関連株式ファンド

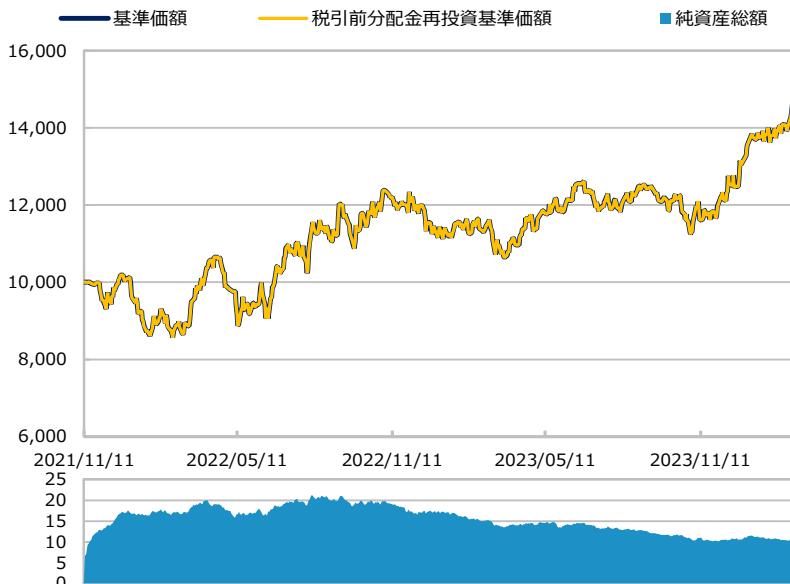
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2021年11月12日

日経新聞掲載名：グロ創薬株式

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	14,480	+552
純資産総額（百万円）	1,062	-19

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 か月	2024/01/31	4.0
3 か月	2023/11/30	23.5
6 か月	2023/08/31	15.9
1 年	2023/02/28	27.6
3 年		
設定来	2021/11/12	44.8

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/11/10	0
第2期	2023/11/10	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.3	+0.6
マネー・ファンド	0.1	+0.0
現金等	1.6	-0.6
合計	100.0	0.0

- ※ 組入投資信託の正式名称は「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」です。
- ※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。

運用概況

当月末の基準価額は、14,480円（前月比+552円）となりました。
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+4.0%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
株式	95.2	+2.2
先物等	0.0	0.0
現金等	4.8	-2.2
合計	100.0	0.0

組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	78.8	+0.8
2 イギリス	4.3	+0.3
3 デンマーク	2.8	+0.9
4 フランス	2.4	-0.2
5 ベルギー	2.0	+0.3

組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカドル	87.6	-1.4
2 ユーロ	4.9	+0.0
3 イギリス ポンド	4.1	+0.6
4 デンマーク クローネ	1.9	+0.6
5 香港ドル	1.2	+0.2

組入上位5業種 (%)

	当月末	前月比
1 医薬品・バイオテクノロジー	94.8	+2.3
2 ヘルスケア機器・サービス	0.5	-0.0

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 106)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.9
2 リジエネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.4
3 アムジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.0
4 ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.7
5 アストラゼネカ	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー	3.6
6 アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.4
7 サノフィ	フランス	医薬品・バイオテクノロジー	2.4
8 アイオニス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.2
9 バイオジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.1
10 モデルナ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.1

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

ヘルスケアセクターは2月に株式市場全体を下回り、一方でテクノロジーセクターが再び注目を集めました。ヘルスケアセクターでは、肥満関連の製薬会社が好調な業績を継続する一方で、多くの大手バイオテクノロジー企業は若干の利食い売りに押されました。ライフサイエンス機器関連銘柄は昨年の逆風（中国からの需要減少や多くの顧客による在庫処分など）が一巡し、投資家が第4四半期決算を好感したことで堅調に推移しました。医療テクノロジー関連銘柄もハイグロース銘柄を中心に堅調に推移しました。しかし、際立ったサブセクターは小型バイオテクノロジーであり、臨床データとM&A（企業の合併・買収）期待により、多くの企業の株価が上昇しました。資金調達環境は2023年以降大幅に改善されています。

＜運用状況＞

2月の当ファンドの基準価額は、上昇しました。

2月は、ノバルティスによるモルフォシスの買収が発表され、製薬業界ではM&A活動への継続的な関心が見られました。この買収には、血液がんの一種である骨髄線維症に対するBET阻害剤ペラブレシブ（開発後期段階）が含まれ、ノバルティスのがん関連パイプライン（計画案件）の強化が図られます。

さまざまな疾患分野で臨床データの更新が行われました。セルデックス・セラピューティクスは、皮膚発疹の一種である慢性自然発生性蕁麻疹を対象とした臨床試験で良好な結果が得られたと発表しました。重要なポイントは、患者が以前に受けた治療法に関係なく、薬剤候補が有効性を示したことです。また、ジーンランド・ファーマのグルカゴン/GLP-1デュアル受容体アゴニストは、非アルコール性脂肪肝炎での大幅な改善を実証しました。開示されたデータは、この薬剤候補の非常に競争力のあるプロファイルを示唆しています。4Dモレキュラー・セラピューティクスは、2つの遺伝子治療の臨床試験が良好だったことを発表しました。1つは眼疾患の加齢黄斑変性症（滲出型AMD）の治療に関するもの、もう1つは希少遺伝性疾患であるファブリー病の治療に関するものです。

規制の面では、いくつかのがん関連治療が認可を受領しました。アイオバンス・バイオセラピューティクスが手術不能または転移性黒色腫の治療に対するリフィルールセル（アムタグヴィ）のFDA（米国食品医薬品局）早期承認を受領し、画期的な進歩を遂げました。これは腫瘍浸潤リンパ球療法の初の承認となります。アストラゼネカのタグリッソと化学療法は、非小細胞肺がんの一次治療として承認を取得しました。この治療は、臨床試験において患者の全生存期間に有意な利点を示していました。バイオジェンのスカイクラリスは、フリードライヒ運動失調症の治療薬として欧州の承認を取得しました。この希少遺伝性の進行性神経変性疾患での欧州で承認された

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

最初の治療法となり、重要なマイルストーン（目標到達）となりました。バーテックス・ファーマシューティカルズとクリスパー・セラピューティクスのカスジェビーは、鎌状赤血球症とβサラセミアの治療薬として欧州で承認され、遺伝子編集細胞療法の欧州初の承認となりました。最後に、レジエンド・バイオテックの細胞療法は、多発性骨髄腫の治療薬として欧州の承認を取得しました。

決算関連では、いくつかの注目すべき企業が最近、有望な決算を発表しました。インサイトは、皮膚科関連商品とオンコロジーのジャカフィの売上高が前年同期比で増加したことにより、堅調な第4四半期決算を発表しました。また、アトピー性皮膚炎や白斑用のクリームの需要も旺盛で、売上に大きく貢献しました。クリスタル・バイオテックの、希少遺伝性皮膚疾患に対する最近承認された遺伝子治療薬ビジュベクの売上高は、患者と医師の高い需要、幅広いアクセス、良好な服薬コンプライアンスによって売上予想を上回りました。ベイジーンは財務見通しを引き上げ、現在の製品ポートフォリオで十分な成長見通しを示しました。

＜見通しと方針＞

2023年のヘルスケアセクターは期待はずれで終わりましたが、当社は依然として前向きです。金利上昇が最終的に経済成長を抑制することが想定され、米国経済が予想よりも好調だったとしても、ヘルスケアセクターは安全な資金避難先だと考えられます。また、今回の米国大統領選挙のニュースや候補者のコメントがこの分野に大きな影響を与えることはないでしょう。臨床最新情報に見られる足元の進歩は、バイオテクノロジー分野の継続的な進歩を強調しており、さまざまな疾患を持つ患者に新たな希望をもたらしています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

ファンドの特色

- 主として、革新的な技術力で医療分野に新たな可能性を生み出していく世界の創薬関連企業の株式に投資を行います。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
 - * 創薬関連企業とは
当ファンドでは、医薬品の開発を行う創薬企業をはじめとして、遺伝子検査や実験機器などのバイオテクノロジーにかかわる企業を指します。創業期など初期のステージにある企業から安定的な成長を確立した企業の株式まで幅広く投資を行います。
 - 実質的な運用は、カントリー・エス・シー・イーが行います。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
 - 基準価額は為替変動の影響を受けます。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

投資リスク

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

2031年11月10日まで（2021年11月12日設定）

決算日

毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ルクセンブルクの銀行の休業日
- ルクセンブルクの銀行の休業日の前営業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ニューヨークの取引所の休業日



グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.232%（税抜き1.12%）**の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、**年1.932%（税抜き1.82%）程度**となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。
また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。
上記の料率は、2023年11月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2024年02月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○	○				

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

